

間伐材ベンチで森のことを伝えよう

～環境を大切にする心と行動力を育む『こどもエコクラブ』～



三重県における『こどもエコクラブ(公財 日本環境協会)』の登録数は、現在62クラブです。そのなかで平成 26 年に三重県代表として全国フェスティバルに参加した『いなべ市立大安中学校 テクニカルボランティア部』のみなさんの活動をご紹介します。間伐材の有効利用や環境保全の大切さを地域社会に発信する活動は、さまざまな分野で評価されています。

『いなべ市立大安中学校 テクニカルボランティア部』

『こどもエコクラブ』



製品作りのテクニック(技術)を身につけ、それを活かして地域や社会にボランティアしようという目的で活動しています。自然や森林についての環境学習にも取り組んでいます。

【お話を伺った人】



「大安中学校テクニカルボランティア部」

顧問 サポート 出口 省吾 先生

出口先生は理科教師で、平成 10 年 4 月にテクニカルボランティア部を発足し、顧問を務めました。その後、他校へ異動しましたが、平成 26 年に大安中学校に赴任し、再び顧問を務めています。

環境学習にも熱心に取り組む先生で、「森林インストラクター」、「自然観察指導員」、「環境カウンセラー」などの資格を持っています。

いなべ市にある大安中学校は、自然豊かで緑に囲まれた学校です。放課後、部活動の時間になると、旧校舎の木工室に部員が集まってきました。『テクニカルボランティア部』では、地域の間伐材や廃材を有効活用して、ベンチやテーブルなどの木工製品作りに励んでいます。

どれも立派な出来映えで、とても丈夫に作られています。製品は一般に販売していて、その収益金はアジアの水に恵まれない国に井戸を建設する費用として寄付しています。

平成 26 年度には、こうした活動をもとに部員が作った壁新聞が全国審査で『こどもエコクラブ』の三重県代表に選ばれ、東京で開催された全国フェスティバルに参加しました。

全国フェスティバルへ参加

しました。間伐材を利用した環境保全活動が高く評価され、全国から集まった壁新聞のなかから『こどもエコクラブ大賞』を決める予選を通過し、上位 6 グループに入っています。

そこで今回は『テクニカルボランティア部』の活動について、部員のみなさんと顧問の出口先生にお話を伺いました。また全国で環境活動をする仲間が集まる『こどもエコクラブ』の事業についてもご紹介します。



平成26年度 全国フェスティバル三重県代表の壁新聞